

ヘッドライン

1. 第24回学術研究大会報告再募集について
2. 北東アジア学会優秀論文賞・学生奨励賞の募集について
3. 第25回学術研究大会開催校募集について
4. 第1回常任理事会（2018年1月20日）議事
5. 第1・2回関西地域研究会開催報告
6. 韓国東北亜経済学会2018年大会派遣報告
7. 『北東アジア地域研究』投稿規定・執筆要領について（部分改正の予告）
8. 第19期新役員

1. 第24回学術研究大会のご案内と企画分科会、分科会報告再募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北東アジア学会第24回学術研究大会を下記の要領にて開催することが決定いたしましたので、ご連絡申し上げます。企画分科会の提案、自由論題報告の申込を一旦4月16日で締め切りましたが、再募集をいたします。下記開催予定、募集要項を参照の上、奮ってお申込みください。

敬具

記

大会テーマ 「北東アジア地域協力の新段階構築に向けて」

開催日 2018年9月29日（土）、30日（日）

会場 立命館大学びわこ草津キャンパス（草津市）

アクセス：JR「南草津駅」からバス約20分 <http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/bkc/>

●大会スケジュール（予定）

【第1日目・9月29日（土）】

10:00 - 12:00 第9期第3回理事会（該当者のみ）

13:00から 受付開始

13:30 - 17:30 シンポジウム「日中関係の新段階構築にむけて—北東アジアの中で—」

日中平和友好条約・中国改革開放40年に当たり、新たな日中関係の構築について、昨年来の北東アジア新情勢を踏まえて報告討論する。

報告：

沈海涛（吉林大学東北アジア研究院教授）

「日中関係の再構築に向けて—政治学の立場から—」（仮）

権哲男（延辺大学経済管理学院教授・院長）

「北東アジア地域経済協力について—朝鮮も視野に入れて—」（仮）

田村暁彦（政策研究大学院大学教授・前経済産業省通商交渉官）

「日中経済関係の新段階—東アジア地域協力の中で—」（仮）

討論（各15分）：

松村史紀（宇都宮大学国際学部）、中戸祐夫（立命館大学国際関係学部）、唱新（福井県立大学経済学部）

18:00 - 20:00 懇親会

【第2日目・9月30日（日）】

09:00 - 11:00 分科会・第1セッション

11:10 - 13:10 分科会・第2セッション

13:20 - 14:30 総会（昼食）

14:40 - 16:40 分科会・第3セッション

北東アジア学会第24回学術研究大会実行委員会

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学経済学部 高屋和子研究室気付

メール conference2018@anears.net

●大会参加申込スケジュール

報告

報告申込用紙（学会HPに掲載）に必要事項をご記入のうえ、奮ってお申込みください。

2018年5月20日（月）：自由論題の報告、企画分科会の提案の申込締切

氏名・所属・論題・希望コメンテーター（2名以内）、報告・企画要旨（800字以内）

宛先：conference2018@anears.net

実行委員会、常任理事会を経て、申込確認結果を連絡する予定です。

2018年8月31日（金）：①予稿集原稿（報告要旨）の締切、②報告論文（フルペーパー）の座長、討論者への送付締切。書式や字数等については、HP及び2月15日付会員メールにてご確認ください。

※予稿集原稿送付先：conference2018@anears.net
参加申し込み・宿泊申し込み

1. 参加申し込みについては、発表申込の件数等を

踏まえ、大会プログラムを作成し、後ほどご連絡を差し上げます。

2. 宿泊については、京滋地区にはたくさんのホテル等があるため、大会実行委員会からの斡旋は特に

行いません。なお、秋の観光シーズンの始まり、中国国慶節連休等に鑑み、会員各位の早目の手配をお願いします。

2. 北東アジア学会優秀論文賞および学生奨励賞の募集について

●「北東アジア学会優秀論文賞」は、若手研究者育成を目的として、学会設立 10 周年を記念して設けられました。今(2017/18)年度も下記の日程等で、推薦を受け付けます。

被推薦対象論文：『北東アジア地域研究』第 24 号をはじめとする 2017 年 9 月 1 日から 2018 年 5 月 31 日までに公刊された査読付単著論文。

被推薦対象者：当該論文発表時に 40 歳程度まで（大学院在学中の者はこの年齢規定の限りではない）の学会員（会費を完納していること）。

推薦方法：2018 年 6 月 30 日（当日消印有効）までに推薦状（指定様式）とともに、当該論文の抜き刷り 5 部を添えて事務局に提出。

表彰：審査を経て、表彰。

副賞：韓国東北亜経済学会（2019 年 2 月）での研究報告（航空運賃等の費用 5 万円を上限として学会が負担する）。

優秀論文賞選考規定

<http://www.anears.net/jm/ronbunsho.pdf>

優秀論文賞推薦状様式

<http://anears.net/jm/form07.doc>

<http://anears.net/jm/form07.pdf>

●本学会では、各年度に提出された卒業論文等について、特に優秀なものを「北東アジア学会学生奨励賞」として表彰しています。

今年度も、2018 年 6 月 30 日（当日消印有効）締切で推薦を募集します。推薦をされたい方は、事務局に「北東アジア学会学生奨励賞推薦状」をご請求の上、推薦する論文 1 部を添付して、事務局にお送りください。

詳細・問い合わせ先：学会事務局

jimukyoku@anears.net

〒525-8577

滋賀県草津市野路東 1-1-1

立命館大学経済学部高屋和子研究室気付

北東アジア学会事務局あて

077-561-4841

3. 第 25 回学術研究大会開催校募集について

2019 年秋に開催される第 25 回大会の開催校を募集いたします。開催日は例年通り 9 月末の週末を予定しています。開催を希望される会員は、2018 年 7

月 15 日までに事務局 (jimukyoku@anears.net) までお知らせください。

4. 第 1 回常任理事会（2018 年 1 月 20 日）議事

●第 19 期第 1 回常任理事会が開催されました。

日時：2018 年 1 月 20 日（土）13:00～15:00

場所：立命館大学朱雀キャンパス 2F 218 教室

出席者：松野会長、三村副会長、川口事務局次長、新井常任理事、唱常任理事、金和雑誌編集委員長、堀内洋雑誌編集委員長、林名誉会員、坂田名誉会員、高屋事務局長

I 報告事項

1. 事務局

2. 第 9 期第 1 回理事会（2017 年 9 月 30 日、日本大学三島キャンパス）について松野会長より開催の報告

3. 2016/17 年度総会（2017 年 10 月 1 日、日本大学三島キャンパス）松野会長より開催の報

告

4. 第 23 回研究大会（2017 年 9 月 30 日～10 月 1 日、日本大学三島キャンパス）川口実行委員長、松野会長、三村副会長（分科会まとめ提出状況）より報告

5. 地域研究会

a. 関東地域研究会「東アジア協力と交流」について川口事務局次長より参加報告

日時：2017 年 12 月 6 日 10:00-13:00 会場：慶應義塾大学三田キャンパス

報告：蔡 美化・延辺大学朝鮮半島研究協同創新センター長「北東アジア地域協力と未来の発展」/ 大西広(慶應義塾大学)米中覇権交代の史的唯物論的意味

討論：川口智彦(日本大学)、権哲男(延辺大学経済管理学院副院長)、劉濤(延辺大学外国語学院副教授)

- b. 2018年第1回関西地域研究会
日時：2018年1月20日(土)15:30~17:30
場所：立命館大学朱雀キャンパス
報告：王文略(西北農林科技大学経済管理学院研究生)“Study on Poverty Reduction Effect of Ecomigration from the Perspective of Risk and Opportunity: Based on Panel Data of 1032 Peasant Households in Southern Shaanxi, China”
討論：北川秀樹(龍谷大学政策科学部教授) / 金早雪(信州大学)「韓国の雇用福祉連携政策について」討論：文京洙(立命館大学)
 - c. 北海道地域研究会について、三村副会長より以下d.ロシア経済共同セミナーを北海道地域研究会としての開催が提案され、北海道の会員の方への連絡、会員勧誘の機会にもなることを確認。
 - d. ロシア経済共同セミナー「日ロの経済関係は進展したのか〜安倍・プーチン首脳会談後の日ロビジネスを検証する〜」(2018年5月9日、北海道商科大学)主催：NPO法人ロシア極東研、北大スラブ・ユーラシア研究センター、北海商科大学、北海道国際交流・協力総合センター、北東アジア学会、後援：北海道、札幌商工会議所、北海道新聞など。堀内賢志常任理事が報告。高田喜博理事がディスカッション司会。
 - e. 研究会の名称等について
松野会長より以下の説明がありこれを確認。これまで常任理事会の前はサテライト研究会として、主として大学院生の報告がなされてきたが、関西では地域研究会として正会員や会員外の研究者の報告も加えて(主となった場合も)実施されてきた。2018年も同様に、大学院生・若手研究者に加えて大学教員(会員外も含む)の研究報告を予定している。
6. 編集委員会
 - a. 和雑誌編集委員会 金編集委員長より投稿、審査状況の報告。
 - b. 洋雑誌編集委員会 堀内編集委員長より投稿、審査状況の報告(電子版が発行され、HPよりご覧になれます)。
 7. 会計 当座預金出納、普通預金・定期預金出納報告
 8. 学術会議等交流事業

- a. 地域研究コンソーシアム(JCAS) 2017年度年次集会・一般公開講演会(2017年10月28日、東北大学)
三村副会長より参加報告、意見交換。
 - b. 地域研究学会連絡協議会(JCASA) 2017年度年次総会(2017年12月10日、東京：(株)国際文献社会議室)若月会員よりの参加コメント紹介、意見交換。
 - c. 平成29年度日本学術会議協力学術研究団体の実態調査(「学会年鑑」) <三村>
三村副会長より参加報告、意見交換。
 - d. 東洋学・アジア研究連絡協議会 2017年総会(2017年12月16日、東京大学)
参加者なし
 - e. 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会
参加者なし
9. 国際交流事業
 - a. 「2017 函們江フォーラム」参加と「新たな学術交流協定締結」意見交換(2017年10月14日~15日、延辺大学、松野・高屋・川口)松野会長、川口事務局次長より参加報告。
 - b. 延辺大学代表団を迎えての地域研究会開催(5・a)
 10. その他

II 協議事項

1. 入会、退会、会員種別変更
 - a.入会：以下4名の方の入会申し込みが提案され、承認。王文略(西北農林科技大学経済管理学院・院生)、陳路(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・院生)、宮城佑輔(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・院生)、李晨(慶應義塾大学大学院経済学研究科・院生)
 - b.退会：川島哲会員、方斌会員、2名の方の退会申し出について審議、承認。
 - c.会員種別変更：鈴木純会員より一般会員から海外通信会員への変更の申し出について審議、承認。
2. 2016/17年度学会優秀論文賞、学生奨励賞の募集結果と2017/18年度の募集について
2016/17年度：応募なし
2017/18年度：2018年6月末日締切、7月理事会で審査体制を整えることを決定。
3. 韓国東北亜経済学会との交流について
 - a.2018年大会への派遣：2月1日~2日(江原大学)
松野周治・会長(報告)、川口智彦・事務局次長(報告)、吉田央・会員(報告)の参加を承

認。

b.学会誌など、交流の拡大について、松野会長より過去の経緯など紹介。今後実質化したとの提案があり、承認。

4. 新たな国際学術交流協定締結事業について
延辺大学東北亜研究院との交流覚書を交換する。交流方式は、中国の国内事情等を勘案し、交通費・滞在費を招聘側が負担することを基本とする。2018年9月の北東アジア学会第24回研究大会に延辺大学からの参加者を招聘する(1名分の交通費宿泊費等を負担する)。2018年に延辺大学で開催される図們江フォーラム(例年10月)等に延辺大学が北東アジア学会会員を招聘する(1名分の交通費宿泊費等を負担する)。
松野会長より提案。備忘録署名を承認。資金等詳細は継続審議。
5. 第24回研究大会(2018年9月29~30日、立命館大学BKC)の企画等
松野会長より提案、承認。詳細は開催案内をご覧ください。
坂田名誉会員より北東アジアに取り組んできた学会としての総括や反省が必要ではとの意

見。林名誉会員より、日中韓三カ国の協力がなげうまくいかないのかの課題をクリアにすべきとの意見。局面展開の課題などの意見が出た。

6. 「つうしん」発行予定
第50号(2018年1月):
総会報告・予決算。2017年大会報告。新役員(名簿と重複すれば不要)。2018年大会報告等募集など。
第51号(2018年4月)
2018年大会開催要綱(シンポジウムなど)、企画分科会・自由論題報告。その他
第52号(2018年7月)
2018年大会プログラム、参加申し込みなど。
以上を承認。
7. 会議日程(案)
第2回常任理事会:4月21日(土)(京都)
第2回理事会:7月28日(土)(立命館大学BKC)
8. その他
常任理事会での情報共有や連絡について、スマホやパソコンのアプリで行う提案(三村副会長)があり、次回常任で資料提案予定。

5. 第1・2回関西地域研究会開催報告

- 第1回関西地域研究会を開催しました。
日時:2018年1月20日(土)13:00~15:00
会場:立命館大学朱雀キャンパス218教室
報告1:王文略(西北農林科技大学経済管理学院研究生)“Study on Poverty Reduction Effect of Ecomigration from the Perspective of Risk and Opportunity: Based on Panel Data of 1032 Peasant Households in Southern Shaanxi, China”
討論:北川秀樹(龍谷大学政策科学部教授)
- 報告2:金早雪(信州大学経法学部/学術研究院社会科学系教授)「韓国の雇用福祉連携政策について」
討論:文京洙(立命館大学国際関係学部特任教授)

- 第2回関西地域研究会を開催しました。
日時:2018年4月21日(土)15:30~17:30
会場:立命館大学朱雀キャンパス218教室

- 第1報告:生駒智一(立命館大学国際関係研究科)
「韓国における金鍾泌の政治的役割—三金時代(1988~2003)の分析」
討論:川口智彦(日本大学政国際関係学部准教授)
- 第2報告:朴光駿(佛教大学社会福祉学部教授)
「韓国のより寛大な貧困観の歴史文化的起源を探る:日本との比較」
討論:金早雪(信州大学経法学部/学術研究院社会科学系教授)

***第3回地域研究会は、7月28日(土)立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて開催予定です。**

***研究会に先立って、理事会を開催予定です。理事の方はご予約下さい。**

6. 韓国東北亜経済学会2018年大会派遣報告

2018年2月1~2日、韓国・江原道春川市にある江原大学で韓国東北アジア経済学会2018年学術大会が「The New Horizon of Northeast Asian Economic Cooperation」という全体テーマで開催された。

当学会からは、松野周治会長、吉田央会員、事務局次長の川口智彦が提携学会のゲストとして参加し、2日午後の分科会で発表した。それぞれの発表テーマは、「Economic Cooperation Between Japan and China in New Stages of Economic Development」

(松野)、「Environmental Policy and Economic Development: Pesticide Regulation Policies of Japan and Korea」(吉田)、「One Belt One Road and the Korean Peninsula」(川口)で、松野会長が英語で、吉田会員と川口が韓国語で行った。

また、本大会には中国マクロ経済学会会長の Liu Rui 中国・人民大学教授も提携学会ゲストとして参加しており、当学会ゲストと同じ分科会で「Problems and Solutions of Northeastern China Economy」というテーマの発表を中国語で行った。韓中英を使った分科会だったが、討論者を交えて意義深いディスカッションが展開された。

分科会終了後、韓国東北アジア経済学会の総会が開催され、海外のゲストがオブザーバーとして総会に参加した。総会では会計報告等が行われた後、韓国東北アジア経済学会の新会長と新事務局長が推薦承認された。

2 日夜には、学会主催の懇親会が開催され、新旧会長、旧事務局長(新事務局長は中国出張中だった)、提携学会会長挨拶があり、交流を深めた。(川口智彦筆)



引き継ぎの握手をする延世大学の李ドゥウォン前会長(右)と中央大学の金ジョンイン新会長(左)

7. 『北東アジア地域研究』投稿規定・執筆要領について(部分改正の予告)

第9期第2回常任理事会(2018年4月21日)の討議を経て、2018年7月28日開催予定の理事会にて、『北東アジア地域研究』は、第25号(2019年5月31日刊行予定)より英文雑誌 *Frontiers of North East Asian Studies* と統合することが検討される見込みです。

関連して、『北東アジア地域研究』編集委員会では、「投稿規定」および「執筆要綱」の一部改正を検討しています。改正内容は、(1)原稿種別による査読と提出期限を整理し、(2)研究論文には必ず「投稿

票」を添えることで匿名性や書式等の遵守を徹底する、という2点です。

新たな「投稿規定」等は確定次第、第25号の投稿期限に間に合うよう、学会ホームページに掲載します。なお、字数や仕様など基本事項に大きな変更はない見込みです(現行規定は、第23号の巻末または学会ホームページ <http://anears.net/jj/shippitsu.pdf> をご覧ください)。

8. 第19期新役員

山村勝郎	名誉会員
藤田暁男	名誉会員
多賀秀敏	名誉会員
林堅太郎	名誉会員
坂田幹男	名誉会員
小川雄平	名誉会員
佐渡友哲	名誉会員
大西広	名誉会員

松野 周治	会長
三村 光弘	副会長
若月 章	副会長
高屋 和子	常任理事・事務局長
川口 智彦	常任理事・事務局次長
岡本 勝規	常任理事・会計
金 早雪	常任理事・和雑誌編集委員長
堀内 賢志	常任理事・英雑誌編集委員長
新井 洋史	常任理事
櫛谷 圭司	常任理事
唱 新	常任理事
堀江 典生	常任理事
五十嵐 誠一	理事
尹 清洙	理事
海老原 毅	理事
岡 洋樹	理事
権 寧俊	理事
柑本 英雄	理事
朱 永浩	理事
詹 秀娟	理事
高田 喜博	理事
高橋 和	理事
張 忠任	理事
辻 久子	理事
轟 博志	理事
中戸 祐夫	理事
中山 賢司	理事
朴 一	理事
蓮池 薫	理事
林 亮	理事
裴 光雄	理事
ベロフ・アンドレイ	理事
松村 史紀	理事
道上 真有	理事
宮島 美花	理事
穆 堯芊	理事
森川 裕二	理事
梁 春香	理事
尹 明憲	理事
李 鋼哲	理事
龍 世祥	理事

齋藤久美子	会計監査
竹村 卓	会計監査